

築川ダム周辺環境整備検討委員会

第 1 回 景観形成検討部会議事録(要旨)

日時：平成 14 年 2 月 5 日(火) 9：30～

12：00

場所：エスポワールいわて(2階大会議

室)

出席委員

岩手大学教授	安藤 昭	部会長
(社)岩手県建築士会会長	小川 惇	委員
(株)カマダデザインルーム代表取締役	鎌田 昌孝	委員
花設計舎	岸根 八ナ	委員
鷹嘴建築設計事務所代表取締役	鷹嘴 紅子	委員

出席職員

岩手県河川課ダム建設係長	松本 中
築川ダム建設事務所所長	菊池 良治
次長	柏 慶治
工務第一係長	石川 潔
技師	高橋 茂樹

要 旨	
1.開会	<ul style="list-style-type: none"> ・ただいまから築川ダム周辺環境整備検討委員会の第1回景観形成検討部会を開催いたします。 (略) ・それでは開催にあたりまして、築川ダム建設事務所の菊池事務所長からあいさつを申し上げます。
2.あいさつ	(略)
3.委員の紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・本日部会が初めての会議でございますので、委員のみなさまをご紹介します。 ・岩手大学工学部教授の安藤部会長です。 ・岩手県建築士会会長の小川委員です。 ・鎌田デザインルーム代表取締役の鎌田委員です。 ・花設計者の岸根委員ですが、今こちらの方に向かっているということですので、まもなく出席されると思います。 ・鷹嘴建築設計事務所代表取締役の鷹嘴委員です。 ・続きまして、県の出席職員を紹介いたします。 (略) ・ここで資料の確認をさせていただきます。 (略) ・それでは、次に次第の4の規約の承認についてであります。 (略)
4.規約の承認	<ul style="list-style-type: none"> ・規約を提案をさせていただきます。 (略)
司会	(意見・質問なく、原案のとおりとする。)
安藤部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは早速議事に入らせていただきます ・本日の議題は5つございますが、審議いただく時間は12：00まで、約1時間半。具体的にご討議頂く時間は十分とっておりますので、どうぞよろ

	しくお願いいたします。
5.議事	築川ダム事業実施報告
事務局	事務局の説明(略)
安藤部会長	・どうもありがとうございました。 ・それでは、ただいまのご説明に対しまして、ご質問をお願いしたいと思います。 よろしいですか？次に進んでよろしいですか？
	築川ダム周辺環境整備基本計画検討委員会(平成8~11年度)の概要報告...資料-1
事務局	事務局の説明(略)
安藤部会長	・築川ダム周辺環境整備の基本理念ですけれども、『生態系を重視した自然と人の共生の舞台とする』、つまりエコロジー重視型で行きましょうというのが基本方針になっております。 ・キャッチフレーズは非常にきれいにまとまって、『新たなる飛翔、恵みの杜に築く浪漫の湖』というのがキャッチフレーズになっております。 先に進んでもよろしいでしょうか？
	築川ダム周辺環境整備基本計画検討委員会景観形成検討部会(平成10年度)の概要報告...資料-2
事務局	事務局の説明(略)
質疑応答	
小川委員	ただいまご説明頂いた、例の、P5の排水というのですか？はけ口の個数がもっと多くなるというお話でしたが、P4の方に目地きりになって、これが一つの特徴となっております、この幅での繰り返し、その幅の間での個数が増えるということになるのでしょうか？
事務局	・そこまで設計が進んでおりません。今の段階で言えることは、個数が増えるということですので、その設計を進めながら、ご相談して決めたいと思っております。
小川委員	・P4の方、現在の計画で4本ついていますが、それを崩さないようなかたちでやって頂くのが一番いいのではなのかと思いますけど。
事務局	・一応お話を受けたまわりながら、さらにご相談しながら進めていくようにします。
安藤部会長	・数はどれくらい増えるのか。できれば対称に増えればいいですね。
事務局	・今、11~12ぐらいになるかと。
岸根委員	・基本理念の中で、生態系を重視したとありまして、かなりの生き物が確認されてわけなのですが、それを重視したということと、それからあとそれ以降のスケッチの中に、そういう生態に対してどう反映しておられるのかご説明頂ければと思います。
事務局	・一つは、エコロードというかたちで、野生生物が新しくできた道路を横断する際の通路というものがあります。冬期間に足跡調査を行ないまして、必要ということになればそういった動物が横断するための通路を確保しようということで、暮れに行ないました委員会においてもそういう話題になっております。この冬に足跡調査を行なうこととなったわけです。
岸根委員	・具体的にはどのようなものですか？
安藤部会長	・具体的には、野生生物の通路つくって、横断できる通路をつくったりとか、側溝などのデザインも工夫するとか。
事務局	・側溝に小動物をいれさせるようなスロープ設けるとか。そういった検討を今行なっている。
安藤部会長	・野生生物の通路などのサイズで、カモシカも通れるのか？
事務局	・足跡調査の結果を踏まえて、対象とする動物を決めたい。
安藤部会長	・こういった質問を受けたことがありますので、十分検討していただきたいと思っております。

	<ul style="list-style-type: none"> ・その他、実際にトンネル、5号橋などの姿が見えてきていますから、それについてのご感想などをお願いします。
小川委員	<ul style="list-style-type: none"> ・なかなかきれいにできていますと思います。
安藤部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・よかった。今のところ順調に進んでいるということで。p11をみていただいて、トンネル坑口のデザインも遠景からは坑口全体が見え、中景から虹のように開いた坑口が見え、近景ではテクスチャ - が見える、というトリプルテクスチャ - になっています。
小川委員	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情ではないのですが、意外と横線が入っていますよね？それから、円形というか、意外に横が厚いんですよね。アーチ型のが、行って見るとわかるのですが、もうすこし本当は強弱がはっきりしていると、アーチの目地の効果がよりでてくるのかなという感じがしている。
安藤部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・アーチのところの彫をもっと深くして、強弱をつけたらどうかという提案なんですけれども。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・実際、車で60kmくらいで走行した時にどう見えるかということもあり、なかなか難しいかなとは思っていましたけれども。
小川委員	<ul style="list-style-type: none"> ・雪がとけたらあそこのできたところだけチェックいただいて。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・この写真にうつしたところは、100mちょっと、比較的近いところですので、見える距離とスピードによってどう見えるか。
安藤部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・そうですね。ありがとうございます。美しいということでもうまくいっていると。
小川委員	<ul style="list-style-type: none"> ・橋脚にも目地があれば有効では。
安藤部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・そうですね。ピアのスタイルがスマートに見える。
岸根委員	<ul style="list-style-type: none"> ・直角におさめるよりは、ちょっと膨らんでいた方がよいのでは。
小川委員	<ul style="list-style-type: none"> ・おかしいなと思ってみていたら目地のところに一箇所雨漏りがあったんですよ。
安藤部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・目地の豪華さをだすというか、効果的かなという感じはします。
岸根委員	<ul style="list-style-type: none"> ・アーチなんですけど凹凸が少ないという印象があります。
	(10分間の休憩)
安藤部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・コンセプトは。歩行者のところは縦横でいこうと、車道側は横横でいこうと。橋脚等の桁は茶系統にして、高欄に合わせて照明施設等も茶系統にしていくということになっています。ただ、ご意見を頂きたいのは、今のところは5号と13号橋がつけられており、これから16の橋ができるのですが、全てこのデザインでいくのかということなんですよ。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今の設計の方でかたまっているのは、P1の盛岡側の1号、2号は国の工事の関係がありまして、設計等をつくっておりません。あとは、12号橋は盛土に見直し、現在は15の橋になっております。 ・距離でいいますと15、16号がちょっと距離的に短いかなと。あとはだいたい100m前後あります。
安藤部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・少なくとも、今できている橋についてはこんなコンセプトでよろしいですね？ ・P4に行きまして、基本的には1号トンネルのデザインを踏襲するという考え方ですが。ただ、各トンネルでちょっと個性的に違わせるとか、車のスピードや距離を考えれば同じデザインでいいのではないかという考え方もあると思いますが。国道と県道を分けるという考え方があるかもしれません。
鎌田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・全体の計画で、全部で付替道路の全長が約7kmある。それがどれくらいのスピードで走るかにもよりますが、意外に短い。
小川委員	<ul style="list-style-type: none"> ・私は同じ感覚でもいいのではないかなと思う。 ・ただ、天狗のなんとかというのデザインにどう活かしていけるのか。
安藤部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ですから、これからご議論いただく9号橋ですか、これはかなりシンボリックな橋になりそうなので、提体と9号橋ぐらいはそういうコンセプトで

	やりますか。
鎌田委員	・今のはなしですがどのように反映されていますか。
安藤部会長	・ダム の 提 体 の デ ザ イン に 反 映 さ れ て い る か で す ね 。 こ れ か ら の 検 討 事 項 と い う こ と で よ ろ し い で す か 。
小川委員	・ デ ザ イン へ の 反 映 と い う の は い い 。
岸根委員	・ 1 号 と か 2 号 と か い う 名 称 は 入 る の で す か 。
事務局	・ 前 に 、 委 員 会 で も 地 域 の 歴 史 と か 文 化 を 考 え て 検 討 し た ら ど う か い う の が 出 て い ま し た 。 国 道 と か 県 道 を 分 け て 考 え て お り ま す が 、 最 終 形 が で た 段 階 で ご 検 討 を い た だ こ う か と 考 え て お り ま し た 。
岸根委員	・ 同 じ デ ザ イン で 通 し て 良 い の で は な い か と い う こ と な ん で す け れ ど も 、 走 っ て い た と き に 特 徴 的 な も の が あ っ て も 良 い の で は な い か と 思 っ た も の で す か ら 。 ど の 辺 を 走 っ て い る か と い う イ メ ー ジ を つ か め る も の が は め 込 ま れ て い た ら い い と 思 い ま す 。
鎌田委員	・ 実 際 に そ こ を 歩 く ひ と を 想 定 し て 設 計 さ れ て い る 訳 で す よ ね 。 歩 道 部 分 の 床 の 仕 上 げ は 何 か 特 別 な も の を 考 え て い ま す か 。
安藤部会長	・ 先 ほ ど の 4 つ の ト ン ネ ル は 、 同 じ よ う な デ ザ イン で 検 討 し て い る よ う で す が 、 歩 道 の デ ザ イン に つ い て は ど う な の か と い う 質 問 で し た 。
事務局	歩 行 者 と 自 転 車 を 考 え て い ま す 。 ダ ム 付 近 ま で は 3.5m の 幅 員 、 そ の 奥 に つ い て は 2.5m の 幅 員 、 ア ス フ ェ ル ト の 舗 装 を 考 え て い ま す 。
安藤部会長	・ ト ン ネ ル に つ い て は 、 4 つ の ト ン ネ ル で 地 域 全 体 の イ メ ー ジ を 特 徴 づ け る と い う 共 通 し た デ ザ イン で い く こ と で い い で す ね 。 た だ 、 今 ど こ を 走 っ て い る か が 分 か る よ う な サ イ ン は 考 え て い く と い う こ と に し て い き ま す 。 具 体 的 な デ ザ イン は 後 で 考 え ま す 。
	付 替 国 道 の ト ン ネ ル ・ 橋 梁 の 景 観 検 討 (案) に つ い て
事務局	事 務 局 の 説 明 P1 ~ P5 (略)
安藤部会長	・ あ り が と う ご ざ い ま し た 。
	・ 橋 梁 の 形 式 、 採 用 し た 理 由 の 説 明 が あ り ま し た 。
	・ こ こ ま で で ご 質 問 は あ り ま す か ？
岸根委員	・ 斜 張 橋 と エ ク ス ト ラ ド ー ズ ド 橋 の 違 い は 。
事務局	・ 一 般 的 に 、 エ ク ス ト ラ ド ー ズ ド 橋 は 、 斜 張 橋 と 桁 橋 の 中 間 的 な 橋 梁 と な っ て お り ま す 。 基 本 的 な 考 え 方 と し て は 、 コ ン ク リ ー ト 桁 橋 の 中 に あ る PC ケ ー ブ ル を 外 に 出 す こ と に よ り 、 一 般 の 桁 橋 よ り も 桁 高 を 低 く で き る と い う も の で す 。
鎌田委員	・ エ ク ス ト ラ ド ー ズ ド 橋 が 増 え て き て い る の は コ ス ト 的 な も の か 。
事務局	・ コ ス ト 的 な も の も あ る し 、 バ ブ ル 時 に シ ン ボ リ ッ ク に つ く っ て い た も の が 移 行 し つ つ あ る も の と 思 わ れ ま す 。
安藤部会長	・ 景 観 的 な も の を 教 え て く だ さ い 。
事務局	・ そ れ で で す ね 、 ま ず 橋 梁 形 式 を ご 確 認 頂 い た あ と に 説 明 を す る 予 定 で す 。
安藤部会長	・ こ の 形 式 に 絞 っ た プ ロ セ ス に 関 し て 、 も う ち ょ っ と 議 論 を し て い た だ き た い と 思 い ま す 。 た だ 、 ご 意 見 を い た だ い て も 変 え ら れ な い 場 合 も あ る か も 知 れ ま せ ン 。
	・ 県 道 切 り 回 し の た め の 経 費 と か 、 そ の 辺 を も う 少 し 具 体 的 に 説 明 し て い た だ け ま せ ン か ？
事務局	・ こ の 表 で わ か り ま す よ う に 、 2 径 間 の エ ク ス ト ラ ド ー ズ ド 橋 で は 約 26 億 円 。 次 に 、 3 径 間 で は 26 億 8 千 万 円 、 そ の 内 訳 と し て 、 2 径 間 の エ ク ス ト ラ ド ー ズ ド 橋 の 上 部 工 が 約 19 億 円 、 PC ラ ー メ ン で は 約 14 億 5 千 万 円 と 、 こ こ で 約 6 億 近 く の 差 が あ る の で す が 、 下 部 工 に お い て は 2 径 間 の エ ク ス ト ラ ド ー ズ ド 橋 と 約 2 億 の 差 が で て い ま す 。
	・ 仮 設 工 で 5 億 5 千 万 、 こ こ で 4 億 の 差 が ご ざ い ま す 。 約 5 億 の 負 担 に な り ま す 。 今 現 在 、 実 際 に 工 事 を 終 え た 段 階 で 仮 設 工 に 関 し て は も っ と 増 加 す

	る傾向にあるのではないかと、そういう仮設費用で工事費が増加する傾向にあります。
安藤部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・そういうことで事務局としては第1案を提案しているということです。 ・橋梁の型式については PC エクストラード橋で了解いただいたということで先へ進めさせていただきます。 ・それでは、詳細なデザインの検討について説明をお願いします。
	事務局の説明 P6 ~ P22 (略)
安藤部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・6 ページ以降について説明をいただきました。まず、美しい橋をつくるというのが第一義ですよね。構造美の創出による景観形成にエネルギーを注ぎましょう。加えて、自然環境にも配慮しましょう。また、できれば地域の固有の文化なども反映できるようなデザインにしたいという考え方ということになります。 ・このような考え方は、B ブロックのコンセプトとも整合しているということによろしいですね。
小川委員	・これは (パース) 24m ですか。
事務局	・これは一番低い 20m のものです。
鎌田委員	・ワイヤーの色は黒になりますか。
事務局	・これはケーブルの材質の色ですが、実際には色を変えている実績もあります。工事費は色を変えることで若干高くなります。
安藤部会長	・主塔のデザインについて何かありますか。
小川委員	・P8 の視点 2 から見たときに主塔はまっすぐ上げる。ケーブルや主塔が斜めになったりすると景観の邪魔をするように感じます。
安藤部会長	・主塔を直立で自然に見えた方がいいという意見がありました。
鷹嘴委員	<ul style="list-style-type: none"> ・P16 の事例にもあるようなものでなく、私としては直立柱のシンプルな方がいいと思います。 ・塔高 20m から 26m のものを比較することでどのように景観への影響を考えたのか。
事務局	・事務局ではできるだけ塔を低く抑えた方が景観的にもいいのではないかと考えました。また、24m の時にどう見えるかという観点からバランスを考慮しています。
安藤部会長	・力学的には 24m が一番経済的で、景観的な観点からすると 20m と 26m の選択肢があるということですね。
鎌田委員	・構造物というのは安定しているというものがきれいに見えると思うんですね。
小川委員	<ul style="list-style-type: none"> ・このケーブルが効いているのか？というような印象も受けます。 ・構造美は合理的なものと思います。
安藤部会長	・一番合理的な設計が美しいということですね。
小川委員	・P15 で主塔とケーブルをつないでいるところの突起物は構造的には必要なものなのでしょうか。
事務局	・これは、ケーブルをつなぐためのものです。
小川委員	・私は、これはあまり好きではないので、今回の計画ではできるだけなくしてほしい。
安藤委員	・シンプルなデザインからだんだん遠くなるということですね。
事務局	・事務局で確認しましたが、今の計画ではこれはつけなくてもいいということです。
鷹嘴委員	・ケーブルの維持管理はどの程度必要ですか。
事務局	・主に黙視による点検を考えています。また、耐用年数より 50 年に一度のケーブルの交換が必要と考えています。

安藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ケーブルでファン形式とハープ形式が提案されていますが、鳥が衝突するなどのへの配慮として、自然との共生の観点から空隙の多いファン形式で検討していくなどが考えられないでしょうか。 ・次回あたりでご検討いただきたいと重います。今回はアバウトなところで確認していきたいと思います。
小川委員	<ul style="list-style-type: none"> ・P20 橋脚のデザインについても目地きり(5号橋と同じような)が共通のテーマになっているので考えられないでしょうか。
安藤部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・P21 左側真中のV字型の案はすっきりして見える感じがしますよね。また、主塔の側面にスリットを入れたような案(P17)もありましたよね。 ・今日は、ケーブルと桁のつなぎ目をどんなデザインにするかという話があり、次回集中的にご議論をいただきたいと思います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・トップについては、雪が降ったときの対応も含めご検討いただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・P1 検討フローとして今回提示しているのが、ステップ1からステップ3、形態の検討までの方向性の検討をいただきたいと思います。具体的には、P21、22についてのご意見をいただきたいと思います。
安藤部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・主塔の形、今日、絞り込みますか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方の時間もないでしょうから、帰ってから事務局で整理してみたいと思います。
安藤部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちも次回でいいですね。今日はじめて見せていただいたので考えてみたいと思います。 それでは、次回は、P1の検討部会(1)と(2)について検討し、橋に関してのデザインを決めていきたいと思います。それまでにイメージをつくっていただき、ご助言をいただきたいと思います。